

イラン第13期大統領選挙（2021年）

閣僚データベース

「中東の非国家武装主体の越境的活動に関する比較研究」

令和3～5年度科学研究費助成事業（基盤研究（B）21H03683）

CMEPS-J Report No. 70 (2023年3月7日作成)

青木 健太（中東調査会）

【解説文】

2018年5月のアメリカによるイラン核合意からの単独離脱以降、厳しい経済制裁によって、イラン国内で失業増加、通貨暴落、物価上昇等が進行し、急速に財政が逼迫したことはよく知られる。こうしたイランを取り巻く国際環境の変化、経済状況の悪化等を背景に、国内では国際協調路線を敷いたロウハーニー前大統領に代表される保守穏健派が退潮し、イラン・イスラーム革命の原則に忠実な保守強硬派と呼ばれる勢力が台頭した。一方で、その「台頭」の具体的な様態は、必ずしも明らかでなかった。

本資料は、このような問題意識を基に、2021年8月に成立したライースイー内閣の陣容を精緻に把握し、革命防衛隊の内閣における存在を確認することを通して、イラン内外政における保守強硬派の影響力拡大を実証的に明らかにする点で意義がある。本資料が革命防衛隊に着目するのは、近年、同隊がCOVID-19対策等の保健衛生分野、抗議行動の弾圧等の社会分野、および経済分野等の広範な領域で着実に影響力を増しているためである。議会における保守強硬派の様態については、2022年3月の「イラン第11期国会議員選挙（2020年）データベース」（CMEPS-J Report No.60）にて公開した¹。本資料は、革命防衛隊が内閣における重要な人材供給源となっていることを客観的に示す資料と位置付けられる。

こうしたデータベース構築を通じて得られる含意には、どのようなものがあるだろうか。第一に、革命防衛隊が台頭しているとすれば、内政面で同隊の影響力が拡大する可能性がある。イラン国内には複数の権力の中心地があるが、仮に現在、政府全体が保守強硬化し是々非々の議論が行われていないとすれば、革命防衛隊が打ち出す政策案がそのまま政策として反映される状況が発生し得る。

第二に、革命防衛隊が議会や内閣の有力な人材供給源となることにより、対外政策面への影響が見込まれる。一般的に、イランは軍事的抑止力の強化を念頭に、革命防衛隊ゴドス部隊が中心となって、「イランによる脅威ネットワーク（Iran Threat Network）」を構築²し、イラク、シリア、レバノン、イエメン等に民兵を育成する政策を取ってきたとされる。従来、外務省が政府間交渉を担い、革命防衛隊ゴドス部隊が非国家主体への支援・連携を担う棲み分けがされてきた。その勢力均衡が今どうなっているのか、本資料はその点を推し量る上において有益であると思料する。

¹ 青木健太・神山美輝「イラン第11期国会議員選挙（2020年）データベース」現代中東政治研究ネットワーク、CMEPS-J Report No.60、2022年3月、https://cmeps-j.net/wp-content/uploads/2022/03/islamic_parliament_2020.pdf（2023年3月7日最終閲覧）

² Tabatabai, Ariane M., Jeffrey Martini, and Becca Wasser, *The Iran Threat Network (ITN): Four Models of Iran's Nonstate Client Partnerships*. Santa Monica, CA: RAND Corporation, 2021. https://www.rand.org/pubs/research_reports/RR4231.html.（2023年3月7日最終閲覧）

【概要】

第13回大統領選挙概要

- ▶ イラン大統領の任期は4年、再選可。三選不可。第13回大統領選挙は2021年6月18日に行われた。
- ▶ 第13回大統領選挙日程は、2021年5月11～15日立候補者登録、5月25日最終候補者発表、5月28日～6月16日選挙キャンペーン期間、6月18日投票日だった。
- ▶ 6月19日に結果が発表され、ライースイー候補が当選。8月5日にライースイー大統領が就任演説、8月25日に閣僚19名の信任投票がイスラーム議会で行われ、教育相を除く18名が信任された。

投票概要

- ▶ 5月15日に締め切られた立候補者登録では、計592名（男性552名、女性40名）が名を連ねた。その後、監督者評議会の資格審査を経て最終候補者は7名に絞り込まれた。
- ▶ 有権者総数は59,310,307人、投票者数は28,933,004人（投票率48.8%、内務省発表）。なお、投票率は1993年の50.7%を下回り過去最低を記録した。
- ▶ 候補者別得票数一覧は以下の通り

候補名（カッコ内は当時の役職）	得票数	得票率
セイエド・エブラーヒーム・ライースイー（司法府長官）	17,926,345	62.0%
モフセン・レザーイー（公益判別会議書記）	3,412,712	11.8%
アブドゥルナーセル・ヘンマティー（前中央銀行総裁）	2,427,201	8.4%
アミールホセイン・ガーズィーザーデ・ハーシェミー（国会副議長）	999,718	3.5%
無効票	3,726,870	12.9%

（出所）内務省発表に元に筆者作成。パーセンテージ表記は、小数点第2位切り上げ。

※注：メフルアリーザーデ（元副大統領）、ザーカーニー候補（国会議員）、ジャリーリー（公益判別会議メンバー）の3候補は、6月16日に撤退を表明した。

閣僚概要

- ▶ 第13期政権閣僚は、大統領、大統領府長官、政府報道官、情報評議会代表（以上4名を便宜的に大統領府内に記載）に加えて、副大統領12名、国务大臣19名から成る。
- ▶ 少なくとも、副大統領12名中3名（25%）、国务大臣19名中3名（15.8%）が革命防衛隊出身者であることが確認される。

【第13期大統領選挙（2021年）閣僚一覧】

	役職名	氏名	主な職歴（※注1）	顔写真
大統領府	大統領	セイエド・エブラーヒー ム・ライースイー (سيد ابراهيم رئيس)	司法府副長官（2004-2014）；検事総長（2014-2016）；マシュハド・イマーム・レザー廟管財人（2016-2019）；司法府長官（2019-2021）	
	大統領府長官	ゴラーム・ホセイン・エスマーイーリー (غلام حسين اسماعيلي)	前司法府報道官	
	政府報道官	アリー・バハーダリー・ジョフロミー (علي بهادری جهرمی)	-	
	情報評議会代表	セペヘル・ハラジー (سپهر خلجی)	-	
副大統領	第一副大統領	ムハンマド・モフバル (محمد مخبر)	前イマームの命令執行本部長	
	行政担当副大統領	モフセン・マンスーリー (محسن منصوری)	元テヘラン州知事	
	副大統領兼行政・雇用庁長官	メイサム・ラティーフィー (میثم لطیفی)	元イマーム・サーデク大学学部長	
	経済担当副大統領	モフセン・レザーイー (محسن رضایی میرقاند)	革命防衛隊出身；公益判別評議会書記；2021年大統領選挙得票2位	
	副大統領兼原子力庁長官	ムハンマド・エスラーミー (محمد اسلامی)	元道路・都市開発相	
	副大統領兼予算計画庁長官	セイエド・マスウード・ミールカーゼミー (سيد مسعود میرکاظمی)	革命防衛隊出身；元石油相；元国会議員（2012-2016）；	
	副大統領兼殉教者・退役軍人財団理事長	セイエド・アミールホセイン・ガーズイーザーデ・ハーシェミー (سيد امیرحسین قاضی زاده هاشمی)	第8～10期国会議員（2008-2019）；国会副議長；2021年大統領選挙得票4位	

	法務担当副大統領	ムハンマド・デフガン (محمد دهقان)	元国会議員 (2004-2019)	
	女性家族問題担当副大統領	エンズイーエ・ハズアリー (انسپه خزعلي)	元アルザフラー大学長；女性	
	議会担当副大統領	セイエド・ムハンマド・ホセイニー (سيد محمد حسيني)	革命防衛隊出身；元文化・イスラーム指導相	
	副大統領兼環境庁長官	アリー・サラージェゲ (علي سلاجقه)	元農業ジハード省副大臣	
	科学技術、知識ベース経済担当副大統領	ルーホッラー・デフガーニー・フィールーズアーバーディー (روح الله دهقانی فیروزآبادی)	-	
内閣	教育相	ユーセフ・ヌーリー (يوسف نوري)	-	
	通信・IT相	イーサー・ザーレプール (عيسي زارع پور)	元文化・イスラーム指導省 IT・デジタル開発責任者	
	情報相	セイエド・イスマーイーール・ハティーブ (سيد اسماعيل خطيب)	イスラーム法学者；元革命防衛隊、ハーメネイー最高指導者事務所、司法府の情報部責任者を歴任	
	経済・財務相	セイエド・エフサーン・ハーンドゥーズイー (سيد احسان خاندوزي)	国会議員；国会経済副委員長；元アッラーメ・タバータバーイー大学イスラーム経済学部長	
	保健・治療・医療教育相	バフラーム・エイノッラーヒー (بهرام عين الله)	元保健・治療・医療教育省教育担当副大臣	
	協同・労働・社会福祉相	セイエド・ソウラト・モルタザヴィー (سيد صولت مرتضوي)	元行政担当副大統領；マシュハド市長	
	農業ジハード相	セイエド・ジャヴァード・サーダティーネジャード (سيد جواد ساداتي نژاد)	国会議員；国会農業・水・天然資源委員長	

外相	ホセイン・アミール・アブドゥルラヒヤーン (حسین امیر عبداللہیان)	駐パハレーン大使 (2007-2010) ; 元外務事務次官 (アラブ諸国・アフリカ担当、2011-2016) ; 国会議長特別補佐官 (2016-)	
司法相	アミール・ホセイン・ラヒーミー (امین حسین رحیمی)	司法府人材管理・文化担当次長 ; 元国会議員	
国防軍需相	ムハンマド・レザー・アーシュティヤーニー (محمد رضا آشتیانی)	国防軍需省副参謀長	
道路・都市開発相 (※注2)	メフルダード・バズルパーシュ (مهرداد بذریاش)	-	
工業・鉱業・商業相	セイエド・レザー・ファータミー・アミーン (سیدرضا فاطمی امین)	元工業・鉱業・商業省幹部	
科学・研究・技術相	ムハンマド・アリー・ゾルフィーゴル (محمدعلی زلفی گل)	元ブーアリー・スィーナール大学長 ; 元エリート財団幹部	
文化・イスラーム指導相	ムハンマド・マフディー・イスマーイーリー (محمد مهدی اسماعیلی)	元戦略問題研究所副所長 ; 元エスファハーン副州知事	
内相	アフマド・ヴァヒーデー (احمد وحیدی)	元革命防衛隊ゴドス部隊司令官 ; 元国防軍需相	
文化遺産・観光・手工芸相	セイエド・エザトゥッラー・ザルガーミー (سید عزت الله ضرغامی)	革命防衛隊出身 ; 元イラン・イスラーム共和国放送代表 (2004-2014) ; 2021年大統領選挙出馬	
石油相	ジャヴァード・オウジー (جواد اوجی)	元石油副大臣 ; 元国営イランガス会社総裁	
エネルギー相	アリー・アクバル・メフラビーヤーン (علی اکبر محرابیان)	元大統領特別補佐官 ; 元工業・鉱業相	
スポーツ・青年相	セイエド・ハミード・サッジャーディー・ハザーウエ (سید حمید سجادی هزاوه)	元スポーツ・青年省幹部	

(出所) [イラン大統領府ホームページ](#)等を元に筆者作成。なお、2023年3月1日時点までの情報を、可

能な限り反映させた。

※注 1：職歴は主だったもののみを記入しており、網羅的なものではない。

※注 2：ロスタム・ガーセミー前道路・開発相は 2022 年 12 月に病死（ガン）と報道された。